



横田 弘



加藤 佳孝

～地盤から構造物までを包括した全体構造の性能を評価できるか？～

社会基盤施設の老朽化に伴う性能低下の評価技術に関する研究会 RC-62

1. 代表幹事

横田 弘（東京大学 生産技術研究所 客員教授）
桑野玲子（東京大学 生産技術研究所 准教授）
加藤佳孝（東京大学 生産技術研究所 准教授）
遠藤貴宏（東京大学 生産技術研究所 助教）

連絡先

加藤佳孝
Tel : 03-5452-6472
Fax : 03-5452-6476
e-mail : katoyosh@iis.u-tokyo.ac.jp
yosimoto@iis.u-tokyo.ac.jp

2. 主旨

我々の生活を支える社会基盤施設には、コンクリート構造物、土構造物、鋼構造物など、様々な材料・構造形式が存在する。これらの施設は、老朽化や使用方法の変化に伴い、必要な構造性能（以下、性能と言う）が、失われた施設が散見される。また、現時点では要求性能を満足している施設も、将来にわたってその性能を保証するためには、性能評価に基づいた的確な維持管理が必要である。従来、各種計測技術を活用して、構造物の性能評価が試みられているが、構造物の性能を適切に評価できる技術は未だ確立されていない。さらに、地盤から構造物までを包括した全体構造の性能を評価する技術に関しては、全くと言っていいほど検討されていないのが現状である。

本研究会では、劣化したコンクリート構造物および土構造物の性能を定量的に評価する技術、および地盤から構造物までを包括した全体構造の性能を評価する技術に関する調査・検討を行う。各分野（コンクリート構造物、土構造物、地盤等）における既存の計測・評価技術の整理を行い、特定の分野で用いられている最新の技術の応用やそれらの統合も視野に入れ、将来技術の方向性を模索する。

- ・塩害、アルカリ、疲労などにより劣化したコンクリート構造物の性能評価における計測・評価技術の整理
- ・土構造物の性能評価における計測・評価技術の整理
- ・地中埋設コンクリート構造物の性能評価の視点からの地盤計測・評価技術の整理
- ・他分野の計測・評価技術の応用の可能性の調査
- ・地盤と構造物の計測・評価技術の統合による全体構造の性能評価

3. その他

年会費 : 10万円

※全ての参加企業に、研究会運営上必要なタスク（研究会の幹事、調査、計測、評価、分析など）を分担していただきます。
※特別研究会は賛助員を対象にしていますので、未入会の場合は同時入会が必要です。（賛助会費一口10万円）

定 員 : 特になし

運用方法 : 全体会議を3(回/年)程度、WG会議を6(回/年)程度開催する予定である。
なお、参加企業からWG幹事担当企業を決定する。



老朽化した社会基盤施設の事例